



しろね図書館だより

No.148

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
平成24年9月発行

小澤俊夫氏 文化講演会決定!

- 演題 『グリム童話集200歳』
- 平成24年10月11日(木)
19:00~20:30
- 場所 白根学習館 ラスペックホール
- 参加費 無料
- 定員 先着500名
- 申込 直接窓口、電話、FAX
白根図書館
Tel.025-372-5510 FAX025-372-5540

くらしのなかに図書館を

こわいおはなし大会

8月11日(土)おはなしのへやに、64名の親子が集まってくれました。ちょっぴりこわいおはなしや絵本にドキドキ…わくわく…。毎年開催してきた「こわいおはなし大会」も今年で13回目。これからも楽しい夏休み行事を読み聞かせボランティアグループのみなさんと職員で開催してまいります。どうぞご参加ください。毎週土曜日おはなしのじかん開催中!

中高生がおすすめ本を紹介☆

職場体験、インターンシップで活動して下さった中高生におすすめの本を紹介していただきました。館内に展示しましたので、ご利用ください。

とても素敵なイラストや紹介文をつけてもらいました。(※高校生の展示は、終了しました)



8月25日(土)午前・午後の2回開催しました。慣れない仕事に戸惑いながらも、楽しく、一生懸命に取り組んでくれました。「またやりたい」「難しかった」などの感想からも図書館員になりきったようです。



参加してくれたみなさん
お疲れさまでした!

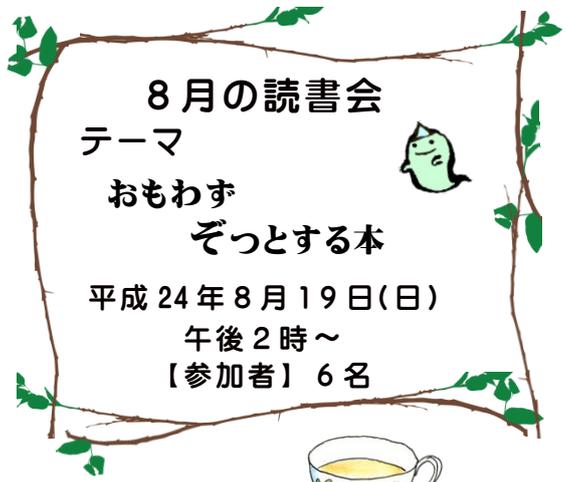
図書館員になっ
てみる日

拡大期間7月21日(土)~9月30日(日)

いつもよりちょっと早く、遅くに図書館へ出かけてみよう!

一部図書館で臨時的に土・日・祝日の開館時間を拡大しています。

対象施設	開館時間	
	土曜	日曜・祝日
ほんぽーと中央図書館	午前9時半~午後8時	午前9時半~午後6時
豊栄・新津・白根・西川	午前9時半~午後7時	



8月の読書会
テーマ
おもわず
ぞっとする本

平成24年8月19日(日)
午後2時～
【参加者】6名



おいしい紅茶を、一緒に。

●参加者の方が紹介してくれた本●

●『砂の女』 阿部公房著 新潮社

昆虫採集のために砂丘地帯を訪れた男が、風変わりな村で、穴の底にある一軒屋に女と閉じこめられる話。どうやってもそこから抜け出すことができない、まさに蟻地獄のような恐怖を感じた。読者によって解釈や反応が変わってくる本で、自分は「人間の不条理」というものを強く感じた。ぞっとするが、何度も読み返したくなる本だ。

●『リーダーズ・ダイジェスト』

アメリカで一九二二年に創刊された雑誌で、これは一九七五年春頃の号。喫煙の健康への影響についての記事が掲載されている。当時日本では喫煙と飲酒は当たり前でかっこいいと思われていたが、その安全性が問われることは少なかつた。胃がんリスクが高くなるという内容が衝撃的だったが、そのおかげで禁煙することができた。

●『イギリス民話集』 河野一郎編訳 岩波書店

『ゆきおんな』 まつたにみよこ文 ポプラ社
何に恐怖するか、どう恐怖するかは、大人と子供では違うと思う。『イギリス民話集』は、おはなし会で子供たちをおどかすのによく語られる本で、イギリスの幽霊にまつわる話が多く収録されている。『ゆきおんな』は、言い回しや語彙が難しいため、大人向けかもしれない。自然に対する恐怖、ストリートではない怖さがある。

●『子どもに語ってみたい日本の古典怪談』 野火迅編 草思社

「吉備津の釜」という話が収録されていて、ひとが語っているものを聞いた。嫉妬という感情の恐ろしさが印象に残っている。

●『審判』 カフカ作 新潮社

朝、目が覚めるといきなり逮捕されるシーンから始まる。その理由は全くわからない。拘束はされずに、そのまま日常の生活を続けることができるが、罪の内実が不明のまま審理を受け続けることになる。「わからない」という心理は恐怖につながるのではないだろうか。

●『死刑執行人サンソン』 安達正勝著 集英社

フランス革命について考える上で糸口になる本。サンソン家はフランスの死刑執行人を二百年以上にわたって輩出してきた家系であり、当代のサンソンも、連日連夜、革命反対派などをギロチンで処刑し続けなければならなかつた。処刑された広場での当時の様子を思い浮かべるとぞっとする。

●『海の底』 有川浩著 メディアワークス

横須賀を襲う「敵」の正体不明なところがまぶ怖かつた。そして、親子関係について親がゆがんだ教育をすれば、その子供もその価値観が当たり前になつてしまうことが怖いと感じた。

次回の読書会

9月16日(日)午後2時～

9月の読書会のテーマ

会場 白根学習館ルーム2



申込みはいりません。
気軽に本のお話をしましょう。
おいしいお茶とお菓子を用意してお待ちしています。
しろね図書館友の会共催

読書の秋——、

思いもかけず夜ふかししてしまった、というくらい没頭した本について語り合います。



・怪談、民話、文学、雑誌記事、伝記、エンターテイメントと様々なジャンルのおもわずぞっとした本が話題にのぼりました。
・読書会で紹介された本の一部は、白根図書館ミニ展示架に並べてあります。ぜひ、手にとってご覧ください。



惜櫟荘だより

佐伯泰英 著 岩波書店



この本を手にした動機は、「櫟（クヌギ）」という漢字が目に入ったからである。こんな難しい字、よくあんたが知ってたねと言われそうだが、うちにもこの木があるのだ。と言っても岩波書店の創始者：岩波茂雄が静養の地として熱海を選び、そこに建てた別荘「惜櫟荘」に鎮座する曲りくねった櫟の古木といった代物ではない。うちのクヌギは、ずばり昆虫酒場なのだ！ そうカブトムシ、クワガタ、カナブン、招かざる客スズメバチ等、昆虫様ご最頂のお店なのである。（女房：せっかく岩波様とその別荘が出てきて、うち亭主も今度こそは格式高い話をかと思ったら、やっぱり、そっちへ落ちるのね…、悲しいわ） 本来ならば傷等から自然に樹液が湧き出したり、そこに入り込む蛾の幼虫、小さな甲虫など昆虫杜氏たちのご登場を待つべきなのに、若い先短い身の上から人工的に幹を傷つけ無理やり樹液を出させるといって「越後屋、おぬしワルよの〜」並みの極悪非道の新興昆虫酒場チェーン店展開中なのである。

脇道にほんのちよつと逸れてしまったが、著者の佐伯泰英氏は時代物文庫本で売れっ子の人である。何年前か、たまたま運転中にカーラジオから氏のインタビュ番組が流れ来て、

スペインの闘牛写真家とか、本が売れなくて出版社から「もう、時代物か官能小説を書きしかな」と言われ、やるしかないと言った時代物文庫本が売れ出し、売れて、売れて…とか、断片的にだが聴き知っていた。

その佐伯氏が岩波文庫の岩波茂雄が建てた別荘「惜櫟荘」と出会い、取得し、保存、修復していく過程、過程に、それまでの氏の人生と出会いをスペイン、フランス、ベトナムなどの回想シーンとともに旅情たっぷりに描き込んだ絵画のような美しい随筆集である。また、戦時下という極限の中、出版人岩波茂雄と建築家吉田五十八が敢えて挑んだ夢とその仕掛けが次々と明らかになっていく、謎解き物でもある。そして登場人物がこれまた凄い！ 岩波新書「インドで考えたこと」の堀田善衛とその奥さん、モテモテの永遠のダンディー詩人こと田村隆一とその恋人、映画界の風雲児こと角川春樹等々、それこそ一筋縄ではいかないご歴々とよくぞこのようにお近づきになられたものである。実に、うらやましい〜！ 私なんぞ、古町のM堂前でサイン会をしていた畠山みどり、京都駅ですれ違ったジュディ・オングぐらいのものである。（女房：あんたの「お近づき」って、そういうものなの？）

そんな羨ましがらせる罪な本、とにかく手に取って読んでみて下さい。売れっ子時代物小説家として忙しい日々を送る氏が、一人の人間として引き寄せられるように選んだその場所…、惜櫟荘と老櫟の話しを。

子どもたちといっしょに

みょうがやど 落語絵本



ある宿屋の夫婦が、みょうが料理をどっさり出して、お客様に物忘れさせ、その荷物を横取りしようと悪巧みを始めますが…。

クレヨンハウス 川端 誠[作]

「みょうがを食べ過ぎると物忘れをする」という俗信を知っていますか？
これは、お釈迦様の弟子のひとり、繫特をめぐるエピソードが元になっています。自分の名前すら忘れるぐらい、物忘れがひどかった繫特のお墓の周りにはえたのが、みょうがだったのです。
ですから本当にみょうがを食べ物忘れする…ということはありません。ありませんが、これが信じられていた時代があるわけで…。物忘れをするという俗信が通じなくなった現代では、あまり口演されなくなったという噺ですが、どうぞ絵本の世界でお楽しみください。（早川）



さようなら ありがとう Book Bus コーナー

南区の学校に親しまれてきた白根図書館ブックバスですが、残念ながら今年度末で運行を終了することになりました。

ブックバスの足跡

平成12年4月26日 ブックバス運行開始

- ・同年6月1日のしろね図書館オープンに先駆けて、ブックバスは運行を開始しました。
- ・出発式では白根市長(当時)がテープカットを行い、晴れやかにスタート。初めての運行先は、大通小と根岸小でした。
- ・このブックバスは、埼玉県越谷市から譲り受け、ラスペックのマークを大きく書き入れ明るくリメイクしたものでした。2,500冊の本を載せ、当時の白根市内の小中学校や保育園、地域生活センターなど16地点(最大時18地点)を巡回し活躍しました。



イラストは、平成12年の「ブックバス開始のお知らせ」から初代しろね図書館長栗村節子氏画

平成16年12月1日 ブックバス2代目出発式

ちょっとコンパクトな車になりました。
約1,600冊の本を積み、現在も走行中。

10/3までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のよみかたり 14:10~
ストーリーテリング 14:30~

おはなしかご例会
第2、第4週土曜日

9/8 (ル-ム4・5) 10:00~
9/22 (ル-ム4・5) 10:00~

9月16日(日)

読書会(ル-ム2) 14:00~

10月3日(水)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

白根図書館休館日
(毎週金曜日と毎月第1水曜)

9/7(金) 9/14(金) 9/21(金) 9/28(金) 10/3(水)

9月のブックバス



★9月~10/4の予定を載せています。

★-/の箇所は運休です。

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	13:00~13:25	9/10 9/24
火A	白根小学校	13:10~13:30	9/11 -/-
水A	白井小学校	13:00~13:30	9/12 9/26
木A	新飯田小学校	10:15~10:35	9/13 9/27
	味方小学校	13:10~13:35	9/13 9/27
月B	根岸小学校	児童限定	9/3 -/- 10/1
火B	小林小学校	児童限定	9/4 9/18 10/2
	大通小学校	13:00~13:30	9/4 9/18 9/26(水10:10~) -/-
木B	茨曾根小学校	10:15~10:35	9/6 9/20 10/4
	大鷲小学校	児童限定	9/6 9/20 10/4

※ブックバスは今年度末で運行を終了します。

※ブックバスでお使いのカードで、新潟市の図書館を利用できます。

平成17年3月 新潟市合併

- ・合併により、味方小学校へも運行開始。
- ・その後、利用状況などから停車場を見直し、現在のように小学校10校を巡回する形になりました。

平成22年7月 図書館オンライン化

新潟市立図書館共通の「貸出カード」に、書き換えを実施。



今年の南区成人式のひとつ。子どもの頃利用していた懐かしのブックバスの前で、パチリ!

今月の展示架

9/6~10/2

ことばであそぼう!
ことばをみがこう!

ちょっとテレビはお休みしてことばあそびはいかがでしょうかなぞなぞから、俳句・短歌や詩を集めてみました。

8月の来館者数…………… 19,302人